

源^{げん}三^{さん}位^ゐ頼^{より}政^{まさ}の旧^{きう}蹟^{せき}は大^{おほ}炊^の御^み門^{かど}〔今の竹屋町を云ふ〕京^{きやう}極^{ごく}の西^{にし}にあり。

家 集

二月のついたち頃に、花またしき程に、ならよりつくりたる桜をまぜくだ
物のうへにかざしてつかはしたりけるを、ひとり見んがくちをしさ
に、むかひなる所に桜の梢のみゆるがまだ咲ぬほどに、あるじのも
とへ此造花をつかはすとて

君がすむ宿の梢のさかぬ間にめづらしかれと花奉る

頼

政

かへし

みさへなりちらでやむべき花みれば宿の梢は待れざりけり